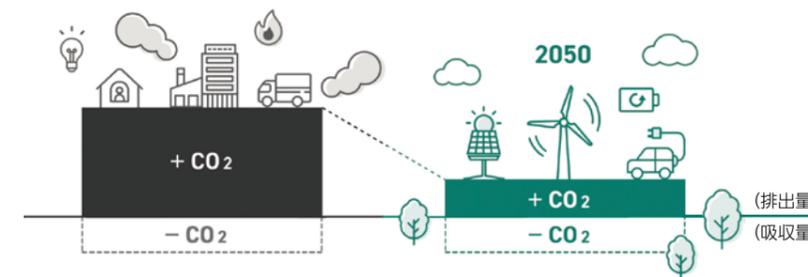


ゼロカーボンシティ宣言

30年先のため、 今、始めること

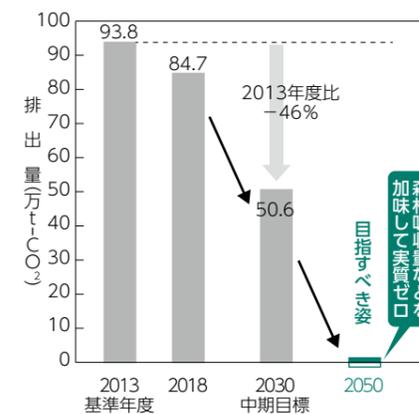
私たちの電気やガスなどを使う便利な生活から排出された大量の温室効果ガスにより、地球温暖化が進んでいます。これを食い止め、安心して暮らせる地球環境を将来世代へつないでいくために、今、私たちにできることは何か、考えます。

ゼロカーボンのイメージ図(環境省HPを基に作成)



カギは、「ゼロカーボン」
地球温暖化を食い止めるには、ゼロカーボンを達成することが必要です。ゼロカーボンとは、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量を同じにすることで、実質的な温室効果ガスの排出量をゼロにすることです。
※大気中の二酸化炭素やメタンなど、太陽からの熱を地球に封じ込めるガスのこと。

市のCO₂削減目標のイメージ



今年度、地球温暖化対策をより推進していくために改定した「可見市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」に基づき、ゼロカーボンの達成に向けて取り組みます。

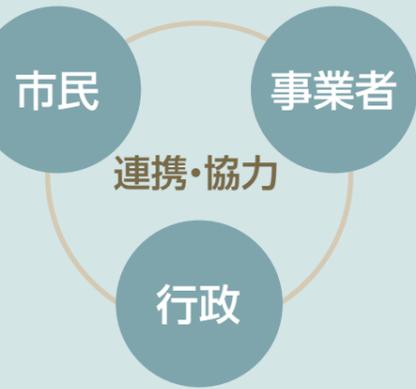
ゼロカーボンシティ宣言



広見小学校の児童にゼロカーボンに関するメッセージを渡す富田市長

みんなで取り組もう

地球温暖化対策は、市民・事業者さんと行政が一体となって進めることが大切です。
下記の主な6つを参考に、それぞれの立場でできることから始め、連携・協力して取り組みましょう。



連携した取り組みの事例
「ボトルtoボトル」リサイクルや環境教育について、次ページで紹介しています。

地球のために

ゼロカーボンに向けて みんなで取り組む 主な6つのこと

01

再生可能エネルギーの
導入・利用促進



太陽光発電設備の設置など

02

食品ロスを減らす



フードドライブなど

03

リサイクルの推進



「ボトルtoボトル」リサイクルなど

次ページで紹介

04

省エネの推進



LED照明など

05

次世代自動車の導入



電気や水素自動車

06

環境教育の推進



環境講座、環境授業



環

境授業

市とサントリーグループは、広見小学校4年生児童33人に環境授業を行いました。

市は、可児川に捨てられたごみが海に流れ、海の生態系に影響を与えることを説明しました。サントリーグループは、「混ぜればごみ、分ければ資源」になることを呼び掛け、リサイクルの大切さを伝えました。



ご協力ください 「ボトルtoボトル」リサイクル

正しく分別することで、何度も「ペットボトル」として循環でき、二酸化炭素排出量の削減につながります。

協力方法は、下記の3つです。

- ①資源ごみの日に出す
 - ②エコドームに出す
 - ③スーパーマーケットバロー広見・下恵土・西可児店に出す
- ペットボトルの出し方



私たちは取り組みます！



授業を受けた木下さん(左)、渡邊さん

事業者との連携 × 環境教育

市とサントリーグループは、今年3月、ペットボトルの「ボトルtoボトル」リサイクル事業に関する協定を結び、市が資源ごみとして回収したペットボトルを100%ペットボトルに再生する取り組みを行っています(市HP参照)。

また、株式会社バローホールディングスの市内3店舗もこの取り組みに参加しており、市と連携して循環型社会の実現を目指しています。

この取り組みなどを子どもたちに知ってもらうため、市と事業者が協力して環境教育を行っています。

ここでは、7月に行った食育講座と環境授業を紹介します。



市HP

食

育講座

株式会社バローホールディングスは、市、サントリーグループと実施した環境講座の中で、食育講座を行いました。

参加した市内在住の親子12組29人は、海の恵みである食材を余すことなく食べる大切さなどを学んだ後、サーモンを解体する様子を見学し、イカをさばく体験をしました。



知っていますか？ 食品ロスを減らす「フードドライブ」

各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄り、それらをまとめてフードバンクの団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動です。
(8ページの県広報でもお知らせしています)



フードバンク活動についてはコチラ



県HP

アンケートでは、「体験して学ぶことができて良い経験になった」などの感想がありました。

お出掛け

- 徒歩や自転車、公共交通機関などで移動する
- エコドライブを心掛ける



買い物

- マイバッグを持ち歩きレジ袋を断る
- 必要な分だけ買う



食事

- 食べ切れる量を作る
- 残さず食べる

いただきます



家の中

- 使っていない部屋の電気を消す
- 省エネの家電を使う



OFF!

あなたも始めよう！

ゼロカーボンアクション

その他の取り組みは
コチラ



環境省HP

環境にやさしくすることは、未来を守ることに繋がります。30年先、そしてもっと先の地球環境を守り続けるために、今、私たちにできることは、たくさんあります。日々の生活の中で、一人一人がちょっと意識して行動することで、未来が変わります。子どもも大人も皆で、小さなことから始めませんか。